

【連続オンライン学習会】  
老朽原発の危険性 第5回 原子炉はなぜもろくなる？ 予測は可能？ 規制委審査は大丈夫？

# 老朽原発40年廃炉訴訟@名古屋地裁

関西電力の高浜原発1・2号機と美浜原発3号機

裁判でわかった

規制委の  
ずさんな審査

2022.12.19 報告：柴山

**TOOLD40@NAGOYA**

老朽原発40年廃炉訴訟市民の会



## 名古屋地方裁判所にて

### 行政訴訟：関西電力高浜原発1・2号機と美浜原発3号機の運転期間延長認可等取り消し訴訟

対象の行政処分は、それぞれの号機の設置変更許可処分、工事計画認可処分、運転期間延長認可処分、保安規定変更認可処分です。

原告：高浜町や美浜町の住民や福井県民を始め関西、中部、全国から参加

原告：高浜1,2号機 1 1 1名、美浜3号機 7 3名

被告：国

参加人：関西電力

提訴：

高浜1,2号機 2016年4月14日（延長認可処分の差し止めを求めて提訴。同年6月20日に認可されたため、取り消し訴訟に。）


美浜3号機 2016年12月9日（延長認可処分は同年11月16日）

## <火山灰濃度の引き上げによる保安規定変更認可>

2022年4月1日付提訴

美浜原発3号機保安規定変更認可無効確認訴訟

対象:2020年2月27日認可

火山の問題が争点から  
漏れないようにする  
ための追加提訴 

2022年5月17日付提訴

高浜原発1、2号機保安規定変更認可無効確認訴訟

対象:2021年2月15日認可

## <火山噴出規模引き上げによるバックフィット命令に基づく設置変更許可>

2022年5月17日付提訴

高浜原発1、2号機設置変更許可取消訴訟

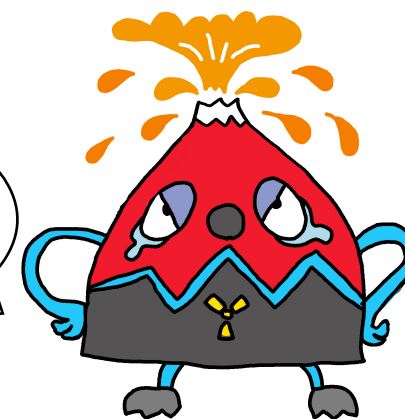
対象:2021年5月19日許可

2022年5月17日付提訴

美浜原発3号機設置変更許可取消訴訟

対象:2021年5月19日許可

噴出規模を2倍以上に  
引き上げた  
バックフィットなのに  
原発停止を命じなかった



# 2022.12.16口頭弁論 またもや裁判官が交替！

名古屋地裁民事9部（行政訴訟専門）



2022.10.3  
口頭弁論時

**佐久間隆裁判官 日置朋弘裁判長 柏戸夏子裁判官**

今年4月の異動で、左陪席裁判官（向かって右）が、若林憲浩裁判官から岩谷彩裁判官に交替しましたが、さらに10/3の期日から、左陪席が柏戸夏子裁判官に交替。岩谷裁判官は9部のままなのですか？

12/16の期日から、右陪席が磯部幸恵裁判官、左陪席は、これまで右陪席だった佐久間隆裁判官に交替（裁判長は日置朋弘裁判長のまま）。柏戸裁判官は変わらず民事9部に。





大きく分けて4つの項目に  
争点をしぼりました。

- ・老朽化
- ・火山
- ・地震

・その他（加振試験・減衰定数、使用済み燃料、  
放射性廃棄物の最終処分に関する主張）

裁判所の要請で4つの項目についてまとめの主張も陳述。  
来年度末までに判決を得るべく大詰め・・・のはずが。

ちゅうせいししょうしゃぜいか

中性子照射脆化のずさんな審査

規制委は監視試験片の原データも見ず

関電の手抜き試験を見逃し

評価結果をうのみに

して延長認可



高浜1号機の原子炉容器の脆性遷移温度（せいせいせんいおんど：金属が一定の温度以下になると粘り強さを失って脆くなる境界の温度）が99℃と全国原発で最も高く、緊急冷却時の破損が心配されている。

デンジャラスくんが読んでいるのは  
「原発はどのように壊れるか  
金属の基本から考える」

小岩昌宏・井野博満著

2018年3月31日 原子力資料情報室発行



2017年8月30日付

## 原告準備書面（15）の求釈明で、国と関電に監視試験片原データの開示を求める

- ・ 高浜1, 2号機では、監視試験片のカプセル数が8体で、1カプセル当たりシャルピー試験片44体、破壊靱性試験片4体、引張り試験片4体。しかし、関電が公表している監視試験片の試験結果のデータ数が少ない。特に、破壊靱性試験は、これまで4回の試験全て合わせても高浜1号機が9個、同2号機が10個、美浜原発3号機が12個と極めて少ない。全てのデータが公表されているのか？

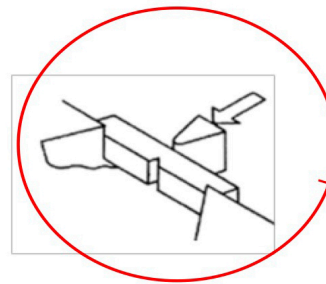
- ・ 中性子線を浴び続けると原子炉はもろくなり、脆性遷移温度が上昇する。

脆性遷移温度が上昇するという事は、原子炉の鋼鉄は粘り強さが低下するはずなのに、なぜか粘り強さが上昇している測定結果があったり、上昇するはずの脆性遷移温度が低下していたりとデータに不自然な点がある。

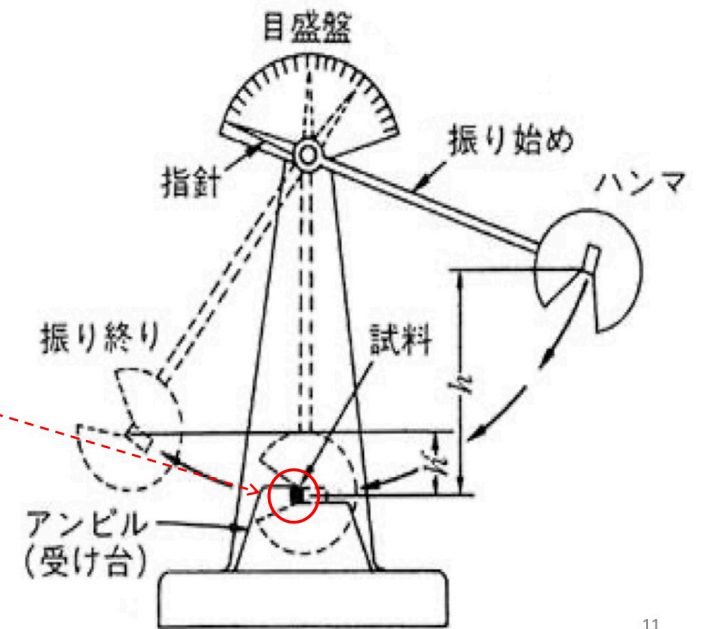
## シャルピー試験

試験片に切り込みをつけ、切り込みの反対側からハンマーを振り子のように振り下ろして破壊し、ハンマーが振り上がる高さで、吸収されたエネルギーを測定する。これを様々な温度で行う。原子炉容器の粘り強さ<靱性>を評価するための試験。シャルピー試験により求めた脆性遷移温度実測値により、将来の上昇量を評価する。

試験片寸法  
10mm角 55mm長



## シャルピー衝撃試験



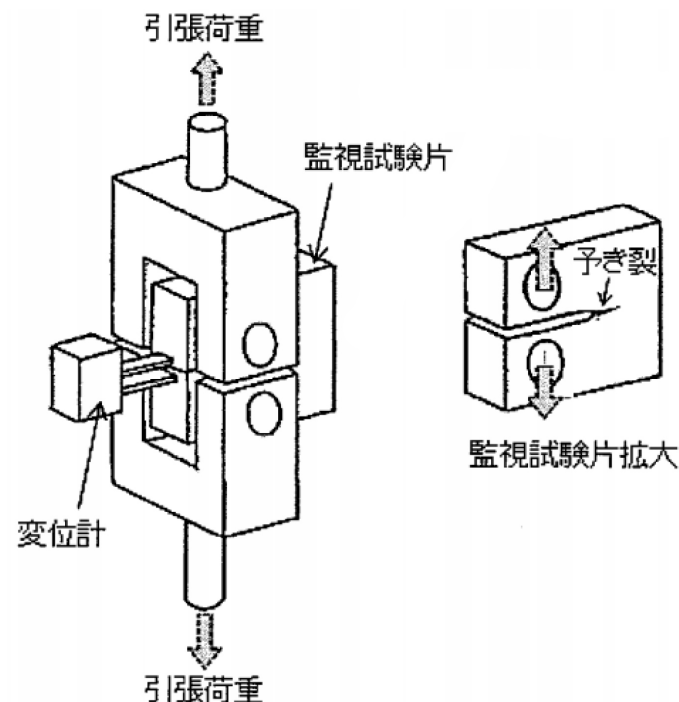
図表 3.1

20221202意見書（中性子照射脆化に関する意見書）甲E第67号証より

## 破壊靱性試験

試験片にき裂を作り、さまざまな温度下で引っ張ってどこまで耐えられるかを調べる試験。破壊靱性試験の測定値を脆性遷移温度上昇分シフトさせ、破壊靱性遷移曲線を求める。

破壊靱性遷移曲線は、原子炉内面にひび割れがあると想定して、配管が破断し冷却材喪失事故が起き、原子炉容器に冷却水が注入されて一気に冷やされ収縮した時に、ひびを広げようとする力がかかっても、原子炉容器が耐えられる靱性＝粘り強さを評価した曲線。



【図表6 破壊靱性試験のイメージ図】

平成28年（行ウ）第49号、第134号、第157号  
高浜原子力発電所1号機及び2号機運転期間延長認可等取消請求事件（名古屋地方裁判所）  
関西電力 準備書面（8）p.21より

# 2019年1月16日 高浜1,2号機第10回口頭弁論 国は監視試験片原データを持っているのか聞いてみました

↓口頭弁論調書より

被 告

1 第15準備書面陳述

2 被告は、中性子照射脆化監視試験片の監視試験結果の原データを参加人から提供されておらず、原データを保有していない。

証拠関係別紙のとおり

裁判所書記官 山 下





# 2019年10月9日付 被告第19準備書面 監視試験片原データを確認しなくていい理由

- ・規制委に試験データを逐一確認する法令上の義務はない。試験データ等の正確性に疑義がある場合など必要に応じて確認すればよい。
- ・人的物的資源が限られているので膨大なデータを確認するのは現実的でなく、審査の充実性を阻害する。
- ・規制委は事業者に品質保証を課しているため信頼性が担保されている。



# 2020年7月13日付 国と関電に監視試験片原データを提出させるよう求める文書提出命令の申し立て

こんにちは。わたしたちは、老朽原発40年廃炉訴訟市民の会です。チラシを手に取ってくださいありがとうございます。

みなさんご存知ですか？ 各原発に吹き込む伊吹おしろいの風上、福井・若狭湾の老朽原発が原則40年を越え、あと20年延長運転しようとしていることを！ でも、その原子力規制委員会の審査が延々ずさんで遅延することです。稼働40年を経る関西電力・高浜原発1,2号機と濃浜原発3号機の運転期間延長認可の取扱いを求めて、原告184名が2016年に名古屋地裁に訴えを起こしました。  
(高浜1,2号機11基、濃浜3号機73基)

取り替えてできない燃料の心臓部、原子炉容器の劣化を調べた関西電力の試験結果を見ると、不自然な数値がありました。あまりにもデータ数が少ないのです！ これに本当に全部なのか？ わたしたちは裁判で、もともとデータを提出するように国と関西電力に求めましたが、「受け取っていません」といいます。しかも、法廷で国の代理人に聞く、もとのデータを関西電力から「受け取っていません」といって隠すのが！

老朽化の審査で重要な試験の原データも確認せず、関西電力が出した評価結果をうのみにして延々と審査の回答が！

老朽化とは一層はじまれません。試験データの解析が正しく行われているかどうかを確認するために、そこでわたしたちは、試験データの提出を促すよう「文書提出命令」の申し立てをしました。

2011年の東京電力福島原発事故の時、最初にメルトダウンした号機は、2011年3月26日迎える老朽原発でした。裁判所には、この事故の犠牲に正面から向き合おうと期待しています。

TOO! 老朽原発

Facebook 460-0002 愛知県名古屋第一法務局 E-mail: too@too1.jp HP: http://too1.jp

訴訟支援センター




1. 40年延長原発をもっと動かすって！

福井県には、40年以上前に動き始めた老朽原発（関西電力の高浜1,2号機と美浜3号機）があるよ。古くてキケンなので、動かさないでほしいけど、「あと20年使っていよいよ」って規制委員会が認めたんだ。

2. 原発は40年までという決まりだよ

よくしま原発事故のあと、事故のリスクが高い老朽原発の廃炉を進めるために「原発の運転は40年まで」というルールが決められたよ。20年の延長は「例外中の例外」「相当難しい」なんていわれたんだ。

でも、延長の審査を申し込んだ原発はどれも認められてるのに、どこが例外なの？

3. 原発は点検・交換が難しい

原発には取り替えてできない部品が多くて、実際の点検すらできない所があるよ。炉容器、長い年月放射線を浴び続けて壊れやすくなっているんだ。

4. 運転延長しても原子炉は大丈夫？

60年運転しても原子炉容器が壊れないか？ どうか？ 関西電力は「試験」で未来の予測をたてて「大丈夫」と言ってるよ。でも、その予測は正しいのかな？ 都合の悪いデータを隠したり、良い結果が出るようにデータを捏造しないかな？

規制委員会はその原データを見もしないで審査したんだって。うっそ！

5. 原子炉は公表もされてないよ

規制委員会は、「原データを見なくても大丈夫」と言ったよ。ぼくたちは、試験結果におかしなところがあるから見てほしいって言ったけど、関西電力も規制委員会も「みんなには見せないでほしいよ！」って言うんだよ！

6. 原データ見せてちゃんと説明して

福井の原発で事故が起きたら、地元はもちろん、関西・中京圏にも放射性物質が広がるかもしれない。みんな心配なのに秘密のままだと安心なだけ。国と関西電力がちゃんと原データを公表するように裁判所から言ってもらいたいよ。

国と関電が隠してる???

原子炉容器「試験」の原データ 裁判所の命令で明らかにするのを待ってます！



ちらしを作って  
宣伝しました。  
裁判所前でも  
ちらしを配布！

裁判所の働きかけで関電が任意で原データを提出

2022年1月19日付 関西電力 高浜1, 2号機  
準備書面 (12) シャルピー試験結果

2022年2月3日付 関西電力 高浜1, 2号機  
準備書面 (13) 破壊靱性試験結果

2022年3月18日付 関西電力 美浜3号機  
準備書面 (10) シャルピー及び破壊靱性試験結果

# 高浜1, 2号機も美浜3号機も、 破壊靱性試験の驚くべき手抜きが判明！

破壊靱性試験片には原子炉容器の母材と溶接金属があり、毎回、両方のデータをとっているものと思っていたが、1回目と3回目が母材、2回目と4回目が溶接金属と、交互にしか試験をしていなかった。しかも、老朽原発の評価で重要な直近の4回目に、原子炉容器本体である母材の試験を行っていない。

そもそも、破壊靱性試験は測定値が大きくばらつくので（「倍・半分」と言われる）、少ないデータでは適正な評価ができない。

他の原発では破壊靱性試験においても、各試験回次ごとに母材と溶接金属の両方を複数個以上試験をしている（九電玄海原発1号機、四電伊方原発2号機）。

1. 高浜1号機

監視試験 回次	区分	試験温度 (℃)	適切なデータが得られなかった理由
1	母材	288	①延性破壊
		100	①延性破壊
		19	適切なデータが得られた
		-100	適切なデータが得られた
2	溶接金属	288	①延性破壊
		150	①延性破壊
		24	適切なデータが得られた
		-50	適切なデータが得られた
3	母材	288	①延性破壊
		80	適切なデータが得られた
		50	適切なデータが得られた
		19	適切なデータが得られた
4	溶接金属	288	①延性破壊
		200	①延性破壊
		75	適切なデータが得られた
		0	適切なデータが得られた

2. 高浜2号機

監視試験 回次	区分	試験温度 (℃)	適切なデータが得られなかった理由
1	母材	288	①延性破壊
		100	①延性破壊
		14	適切なデータが得られた
		-100	適切なデータが得られた
2	溶接金属	100	①延性破壊
		60	②試験装置の故障
		14	適切なデータが得られた
		-30	適切なデータが得られた
3	母材	288	①延性破壊
		20	適切なデータが得られた
		-10	適切なデータが得られた
		-40	適切なデータが得られた
4	溶接金属	288	①延性破壊
		-10	適切なデータが得られた
		-45	適切なデータが得られた
		-80	適切なデータが得られた

以 上

監視試験 回次	区分	試験温度 (℃)	適切なデータが得られなかった理由
1	母材	288	①延性破壊
		100	①延性破壊
		11	適切なデータが得られた
		-140	適切なデータが得られた
		22	適切なデータが得られた
2	溶接金属	-10	適切なデータが得られた
		-40	適切なデータが得られた
		-70	適切なデータが得られた
		100	①延性破壊
3	母材	12	適切なデータが得られた
		-20	適切なデータが得られた
		-50	適切なデータが得られた
		200	①延性破壊
4	溶接金属	-5	適切なデータが得られた
		-50	適切なデータが得られた
		-100	適切なデータが得られた

【図表 9 破壊靱性試験結果】

↑ 20220318 参加人関電 美浜3号機 準備書面(10) より

← 20220203 参加人関電 高浜1,2号機 準備書面 (13) より

表 6-1 第 1 回静的破壊靱性試験結果

	試験温度 [°C]	静的破壊靱性 [MPa√m]
母材	288	—*
	14	120
	-100	80
溶接金属	288	—*
	14	132
	-100	52

※：脆性破壊せず、評価対象外

表 6-2 第 2 回静的破壊靱性試験結果

	試験温度 [°C]	静的破壊靱性 [MPa√m]
母材	288	—*
	16	156
	-100	71
溶接金属	288	—*
	16	110
	-100	43

※：脆性破壊せず、評価対象外

表 6-3 第 3 回静的破壊靱性試験結果

	試験温度 [°C]	静的破壊靱性 [MPa√m]
母材	120	—*
	50	123
	0	116
溶接金属	120	—*
	12	108
	-40	74

※：脆性破壊せず、評価対象外

表 6-4 第 4 回静的破壊靱性試験結果

	試験温度 [°C]	静的破壊靱性 [MPa√m]
母材	150	—*
	80	145
	15	55
溶接金属	150	—*
	50	93
	0	69

※：脆性破壊せず、評価対象外

表 6-5 照射前静的破壊靱性試験結果

	試験温度 [°C]	静的破壊靱性 [MPa√m]		試験温度 [°C]	静的破壊靱性 [MPa√m]
母材	300	—* <sup>1</sup>	溶接金属	300	—* <sup>1</sup>
	0	205		300	—* <sup>1</sup>
	0	—* <sup>2</sup>		0	—* <sup>2</sup>
	-50	212		0	—* <sup>2</sup>
	-50	221		-50	—* <sup>2</sup>
	-100	88		-50	—* <sup>2</sup>
	-100	72		-100	86
	-140	59		-100	70
	-140	55		-140	50
	-196	46		-140	59
-196	46	-196	38		
			-196	44	

※1：脆性破壊せず、評価対象外

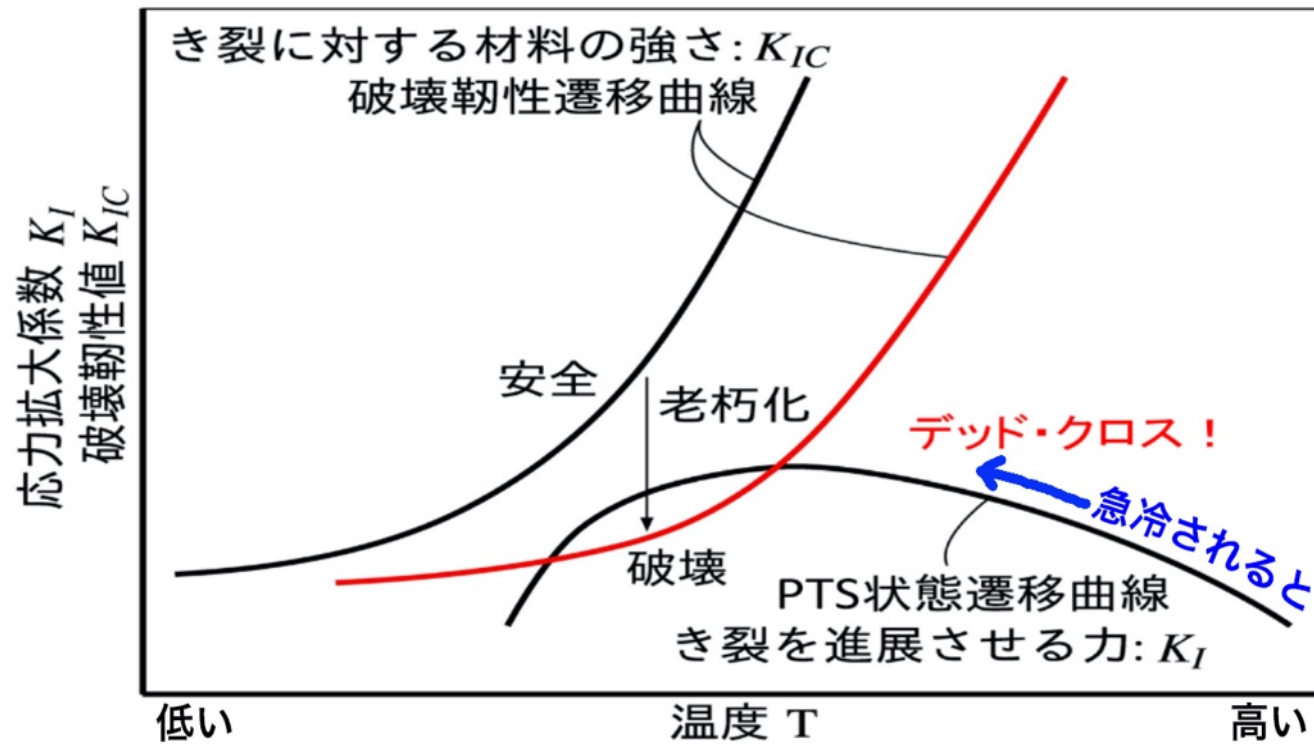
※2：評価対象部位以外が破断したため、評価対象外

2012.1.23

高経年化技術評価に関する意見聴取会(第5回)

資料3 玄海原子力発電所 1号機原子炉容器の健全性について

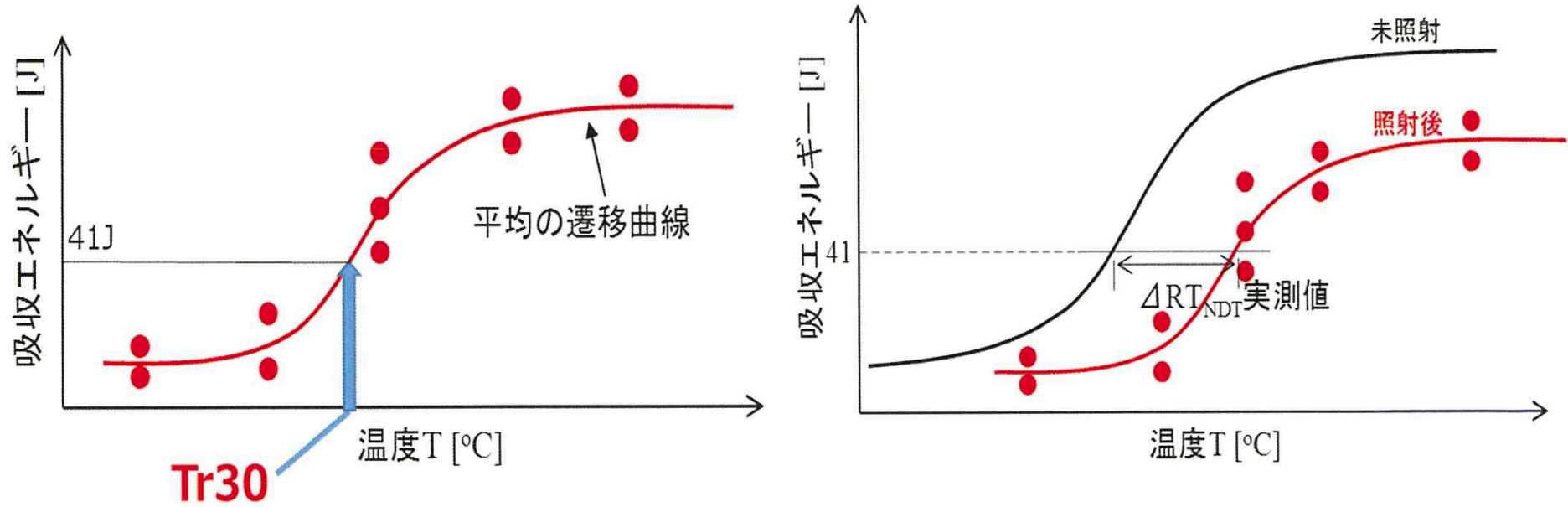
亀裂に対する材料の強さ > 亀裂を進展させる力  
 「原子炉の耐久性」 (破壊靱性値)      「加圧熱衝撃」 (PTS) (応力拡大係数)





## 破壊靱性遷移曲線の描き方

- ①シャルピー試験により求めた脆性遷移温度実測値により将来(本件で言えば 60 年目)の上昇量を評価する。
- ②定められた脆化予測式により、①の予測値の妥当性を評価する。予測式による数値が①の上昇量を下回っている場合は、①の上昇量を上回るように、予測式に含まれるマージンを増加させ予測値を修正する。(なお、この予測式が、面積と長さを足すようなことをしている不合理な式であることを裁判で主張しています。)
- ③破壊靱性試験により得られた測定値を、②の脆性遷移温度上昇分シフトさせ、それらを下限包絡するように、つまり、それより下にはデータがないように曲線を描く。



脆性遷移温度

【図表3 Tr30 と  $\Delta RT_{NDT}$  実測値の算出イメージ図】

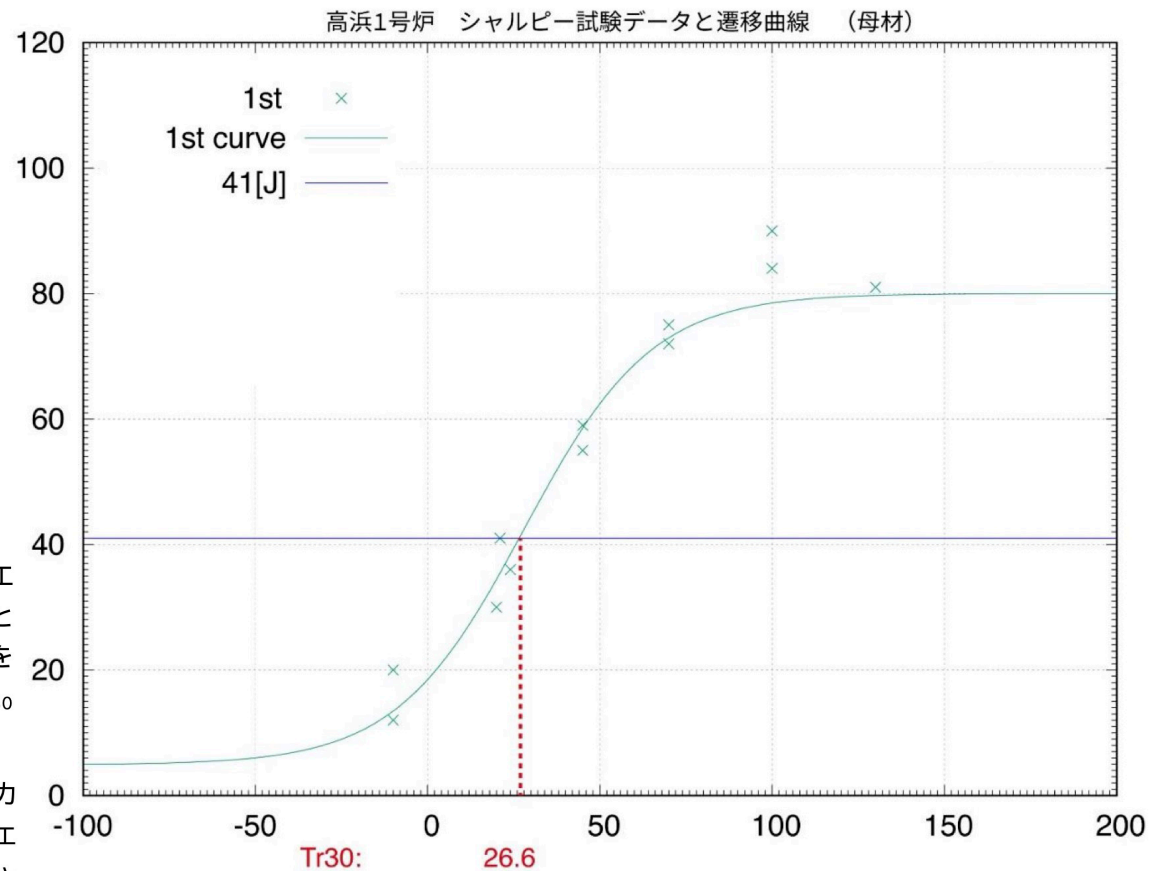
20211028 参加人関電 高浜1,2号機 準備書面 (11) より

1 回次シャルピー衝撃試験結果

部材	試験温度 (°C)	吸収エネルギー (J)
母材	130	81
	100	90
	100	84
	70	75
	70	72
	45	59
	45	55
	24	36
	21	41
	20	30
	-10	20
	-10	12

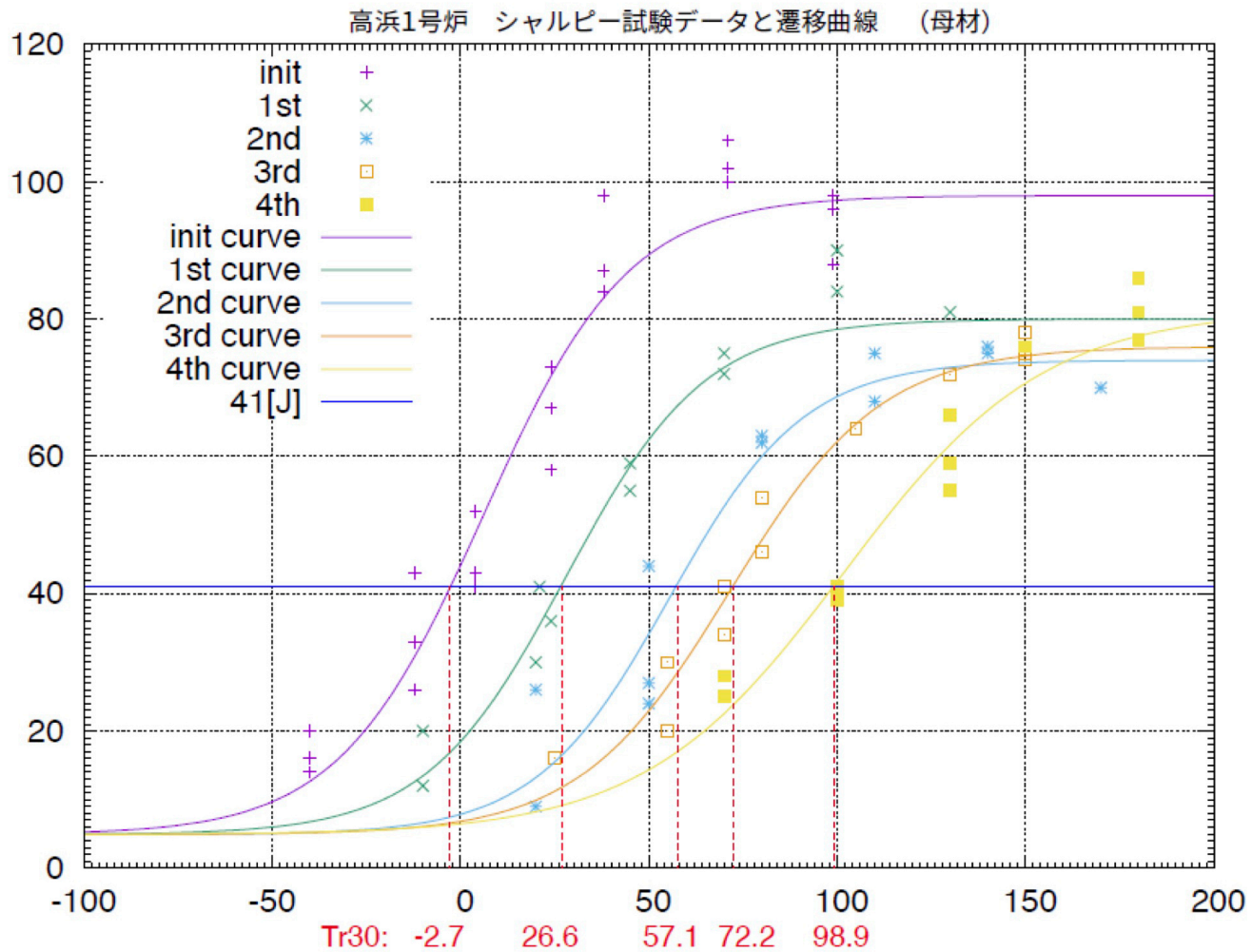
図表 3.2 はその測定例である。横軸に測定温度をとり、縦軸に試験片の吸収エネルギーを示す。吸収エネルギーが 41 ジュール(J)になる温度を脆性遷移温度と定義している。ここで 41J という数値は、米国の基準 30 フートポンド(ft-lb)を換算したものである。よって、シャルピー試験で求められる脆性遷移温度は、 $T_{r30}$ と表記されることが多い。

高浜 1 号炉母材、第 1 回監視試験におけるシャルピー試験結果を図示したもの(関西電力から開示された資料にもとづき筆者ら作成)。横軸は測定温度、縦軸は観測された吸収エネルギーである。脆性遷移温度  $T_{r30}$  は、吸収エネルギー41 ジュール(J)の温度と定義されるので、この図では 26.6°Cと求まる。



図表 3.2

原発老朽化問題研究会メンバーによる「中性子照射脆化に関する意見書」(20221202 甲E第67号証)より



図表 5.2

原発老朽化問題研究会メンバーによる「中性子照射脆化に関する意見書」(20221202 甲E第67号証) より

②定められた脆化予測式により、①の予測値の妥当性を評価する。予測式による数値が①の上昇量を下回っている場合は、①の上昇量を上回るように、予測式に含まれるマージンを増加させ予測値を修正する。

### 被告の反論

2022.10.3 被告・国の口頭陳述要旨より「国内脆化予測式は、監視試験データとの適合性を重視して策定された相関式であるため、その採否に当たっては、理論的な妥当性よりもデータとの適合性が重視されることになります。」

31

## JEAC4201-2007の予測式の不合理性 (理論的間違い)

■ (1) 式:  $dC_{SC}/dt = a C_{Cu} \cdot D \cdot C_{MD} + b (C_{Cu} \cdot D)^2$

物理現象を支配する方程式の各項の次元は同じでなければならない」という**次元一致の原理**に反する。

簡単にいうと、

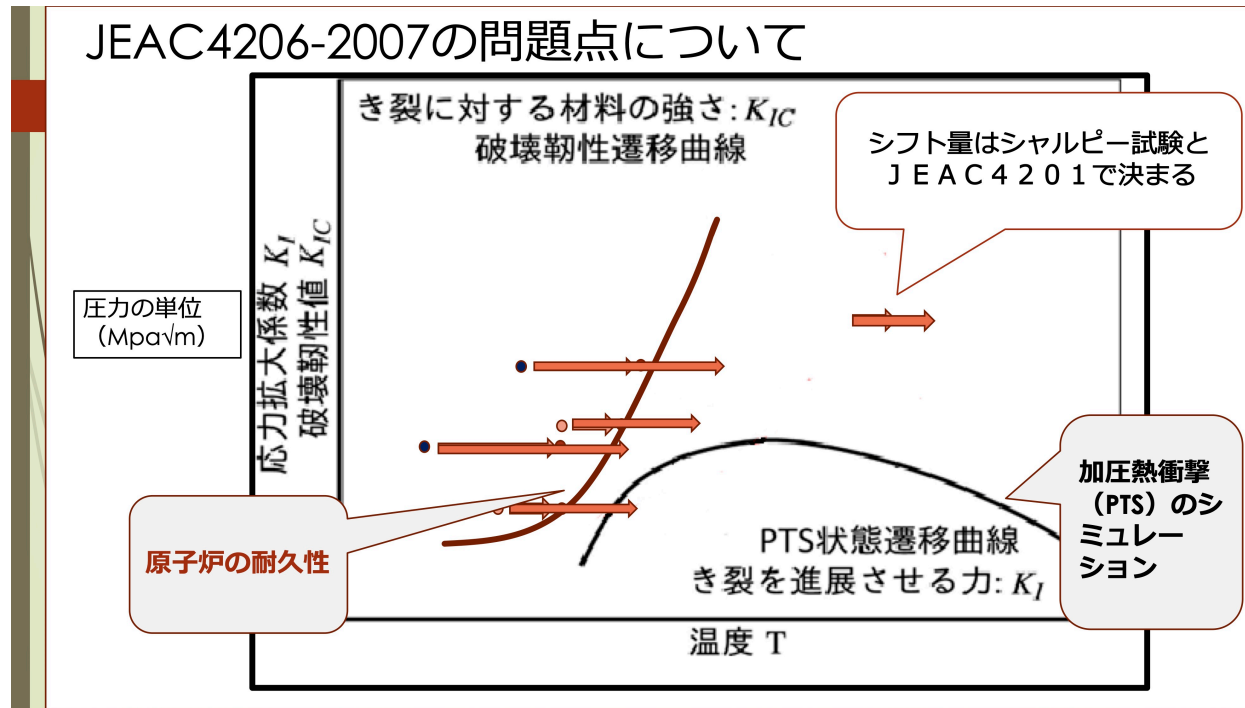
面積と長さをそのまま足すようなことをしている状態

③破壊靱性試験により得られた測定値を、②の脆性遷移温度上昇分シフトさせ、それらを下限包絡するように、つまり、それより下にはデータがないように破壊靱性遷移曲線を描く。

しかし、破壊靱性試験結果は「倍・半分」と言われるほどばらつきが大きい。

シャルピー試験による脆性遷移温度の温度シフト量と破壊靱性値の温度シフト量が等しいと仮定しているが、最新の研究データでは、脆性遷移温度のシフト量では、破壊靱性値のシフトは足りないことがわかっている。<原発老朽化問題研究会メンバーによる「中性子照射脆化に関する意見書」

(20221202 甲E第67号証) 参照>





「原発はどのように壊れるかー金属の基本から考える」 p.153より  
 小岩昌宏・井野博満著（2018年3月31日 原子力資料情報室発行）  
 \* PTS状態遷移曲線が判別しづらいため、青字で加筆

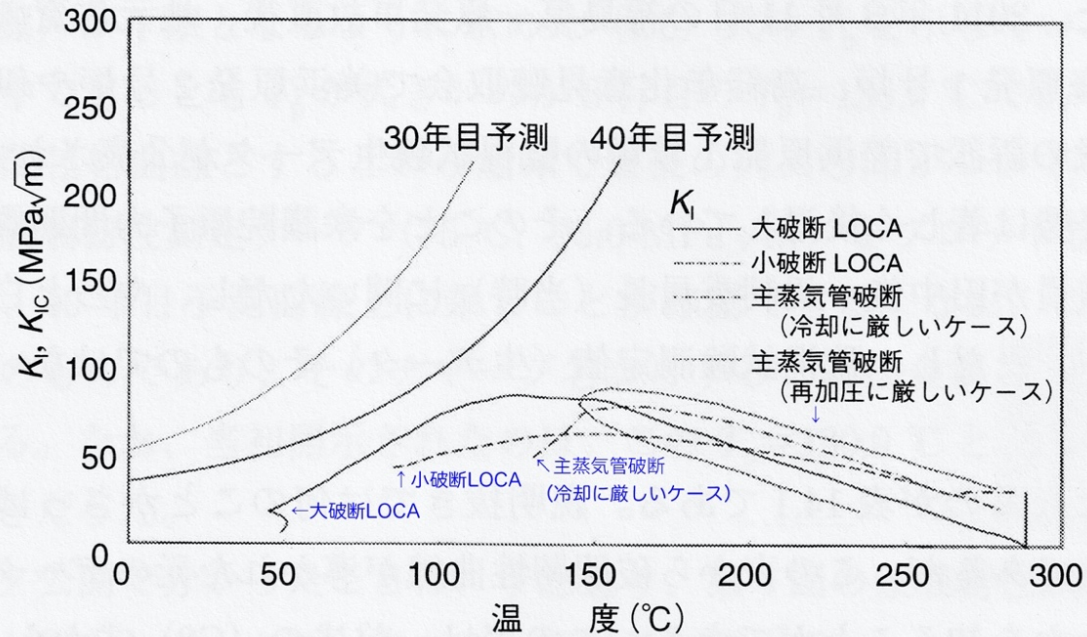


図 14.8 高浜原発 1号炉の PTS 評価

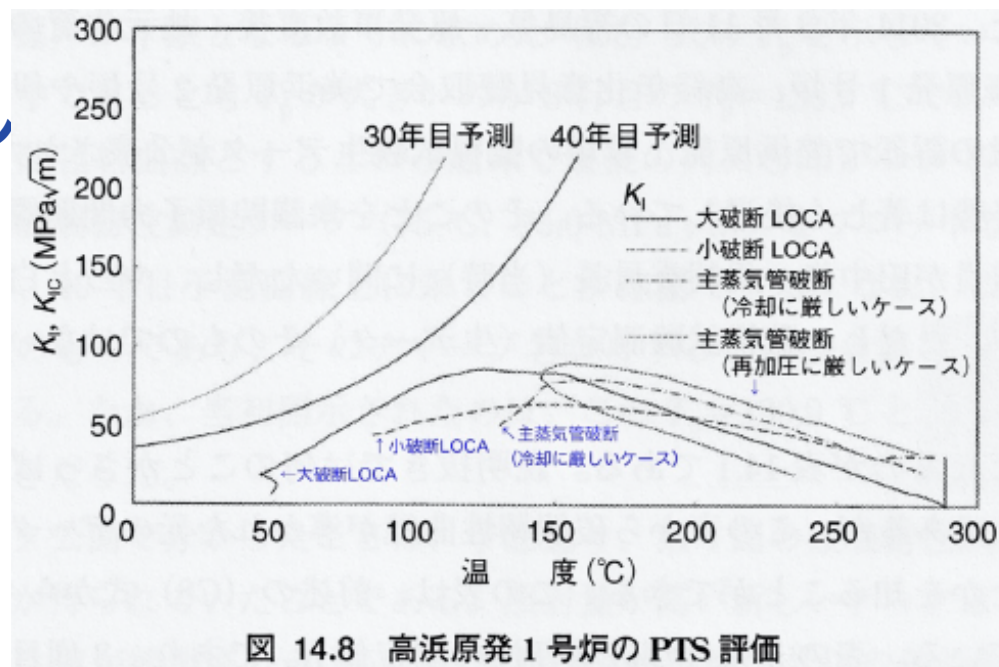
関西電力が作成した「高浜 1号炉高経年化技術評価書」(30年目)と「同」(40年目)に掲載されている図から、同じ運転開始 60 年後の予測曲線を抜き出して比較した図。両曲線の違いは驚くほど大きく、40 年目評価では右下の  $K_I$  曲線に接近している。なお、曲線が複数あるのは、想定する冷却水喪失条件 (大破断 LOCA、小破断 LOCA、主蒸気管破断) の違いによる。



## 2022年10月3日口頭弁論 被告・国が本訴訟で初めて法廷でプレゼン テーマは中性子照射脆化について

大破断LOCA（ロカ：冷却材喪失事故）が起きて非常用冷却水が一気に注入された場合、原子炉容器に深さ10mm、長さ60mmの半だ円表面欠陥があると想定して原子炉容器が破壊されないかを評価する決まりになっている→

- ・「大破断LOCAは、大口径の配管が瞬時に破断し、原子炉容器内の1次冷却水が急速に流出することを想定した事故ですが、世界中を見ても、これまでにこのような事故が発生した例はありません。」として、大破断LOCAを想定した評価自体が保守的だと主張。
- ・想定する欠陥についても、深さ5mm程度の欠陥は検査でわかるから、10mmは保守的と主張。



しかし、超音波検査の不確かさは、2020年の大飯原発3号機の重要配管ひび割れ事故でも明らか。  
<原発老朽化問題研究会メンバーによる「中性子照射脆化に関する意見書」（20221202 甲E第67号証）参照>

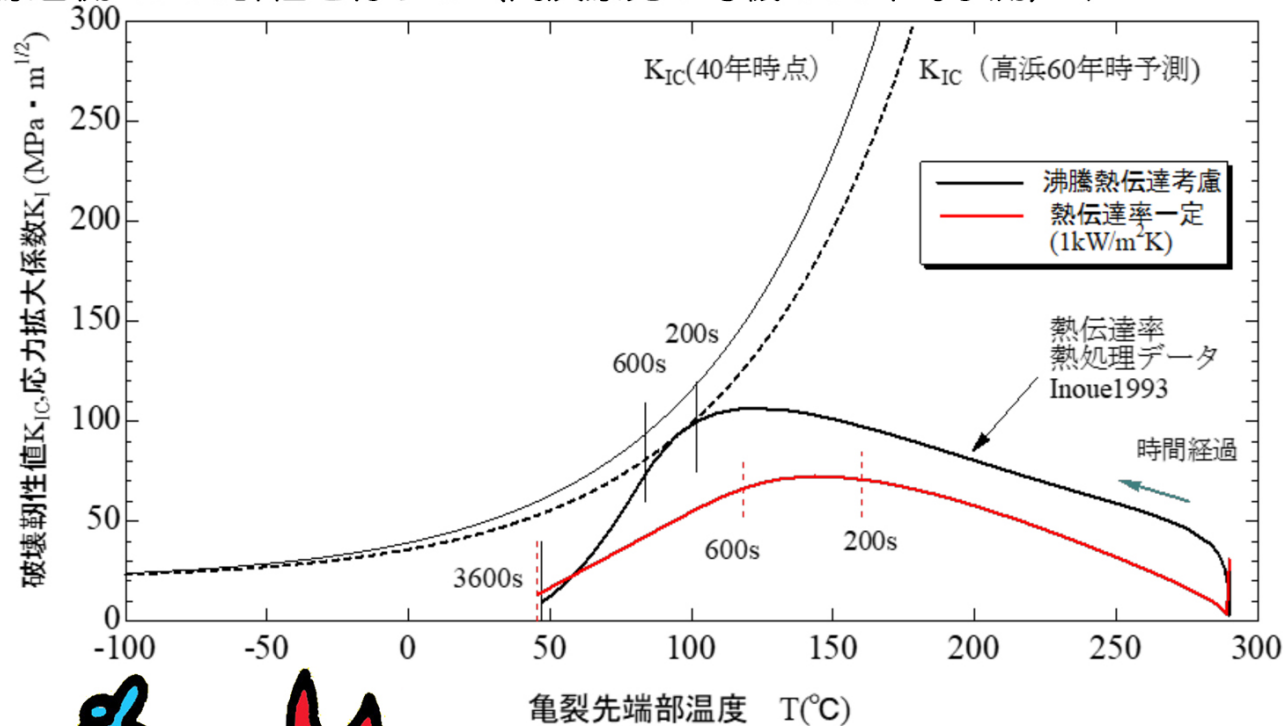
ほかにも  
裁判でわかつたずさんな審査の実態が  
PTS（加圧熱衝撃）評価において大きな影響を与えるのが熱伝達率の設定。  
しかし、規制委は、関電が熱伝達率をいくつに設定して計算したか確認していなかった！

# デッドクロスのおそれが

PTS評価はクラッド（原子炉容器のステンレス製内張り材）なしで評価する規定になっているのに（クラッドが断熱材の役割をしてしまう）、関電はクラッドありで評価しており、規制委がこれを追認してしまっているという違法もある。

また、関電のPTS評価では、沸騰を考慮していない。

クラッド（原子炉容器の内張り材）なしで、かつ沸騰が起きることを前提に原告側でPTS評価を行うと（高浜原発1号機の60年時予測） ↓



デッドクロス  
してる!

## 2022.11.7 原発の運転期間延長の撤回を求める政府交渉 規制庁の回答

- ・ 関電の高浜1、2号機や美浜3号機の監視試験片カプセルには、破壊靱性試験片は母材と溶接金属の両方が入っていない、カプセルごとにどちらかしか入っていない。
- ・ 規制要求としては個別にどういうふうに入れなさいとは要求していない。全ての試験片を使って最も保守的に評価した時に規制要求を満たしていることを求めているので、要求は満たしている。
- ・ 母材と溶接金属で脆化の度合いが異なる可能性があるので両方入れている。それをみんな取り出して、評価して、下限をとって保守的に評価している、どちらかとした最も悪いもので評価しているのでその方がいいのではないかと考える。<←毎回、両方取り出した方が保守的ではないかと聞くと、保守的かどうかわからないと回答。>
- ・ 全部取り出さないと確認できないような規格、ベースにはなっていない。世界各国で研究された内容をベースにしているのでそこまではする必要はない。今まで取り出したもので下限包絡をとっている、**十分に保守的、しかも欠陥もないのに欠陥を仮定している。**
- ・ <高浜1号機の30年目時点と40年目時点における運転開始から60年後の評価の曲線が大きすぎて、データが少なく過小評価になっているからではないか？> 数が多くなるほど予測性は高くなるし、監視試験片の照射量が増えると、60年目に近づくほど予測精度は高くなる。
- ・ 今後の老朽原発の延長認可の審査でも、監視試験片原データやPTS評価の熱伝達率の数値は確認しない。 データは保安規定の下で事業者において正しく測定されているものと考えている。あくまで評価結果の妥当性を確認する。

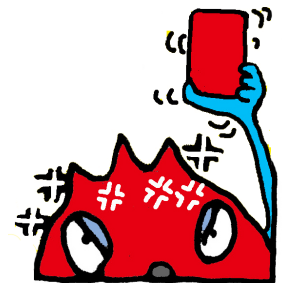
20221216 美浜 3 号機 準備書面 (94) の陳述要旨  
最高裁令和4年6月17日判決 (原発損害賠償) について  
— 多数意見の不合理性と三浦反対意見の妥当性

<https://drive.google.com/file/d/1UzQYoKOipAQGHm2a5Uj03HsqwB6ndZmx/view>  
p.4

(2) また、三浦反対意見は、津波の前提となる地震パラメータの設定について、1つの試算値に過ぎず、幅があり得ることを正しく認識し、その不確かさ(科学的不定性)を保守的に(安全側に)評価して、試算津波を超える可能性も含めて対策を要求している。

多数意見が、試算津波を免罪符のように捉えて、試算値をわずかでも超える事態はおよそ考慮しなくてよいかのような前提に立っているのと、好対照である。

自動車の運転などでも、いわゆる「かもしれない運転」がなされるべきで、こんなことは起こらないだろうという「だろう運転」は危険である、といわれ、「だろう運転」に基づいて事故を起こしても、安易に結果回避可能性がなかったなどとはされない。原発の問題となった途端、事業者も規制行政も、あろうことか最高裁の多数意見までも、「だろう運転」で構わないなどというのである。三浦反対意見は、極めて常識的な発想に基づいて、**原発において「だろう運転」は許さない**ということを示したものと見える。



次回期日は

2023年3月13日（月）

高浜1.2号機 10:30～

美浜3号機 14:30～

中性子照射脆化の  
反論の続きなどを  
予定。





# 老朽原発美浜3号機運転禁止仮処分@大阪地裁 決定交付 2022年12月20日（火）午後2時



大阪地裁前12時集合。  
名古屋では、18時より栄の噴水広  
場北にて街頭アクションを予定し  
ています。

本件の争点は地震と避難計画。  
老朽化は背景事情。  
震源極近傍未審査問題（新規制基  
準では、震源が敷地に極めて近い  
場合、さらに十分な余裕を考慮す  
ることが求められているのに、規  
制委は美浜3号機についてこの点  
の審査をしていません）も争点の  
一つ。